## 週刊風良里



第 1,224 号

令和 5 年 2 月 18 日発行 毎週土曜日発行

## ☆柑橘がいっぱい!!



♪ 髙知の代表柑橘 文日

▶ 女日剥きにけるッキーちゃん!!



♪ 甘さがきわだつポンカン

♪ 少し大ぶりな しらぬひ

道の駅内 JA 高知県直売所『風の市』では、今 柑橘類が大充実。高知の冬から春の代表果実『文旦(ぶんたん)』をはじめポンカンやみかん、珍しい しらぬひ(上画像)等々豊富に入荷中だよ。

## ★ぜひ店頭でお確かめ下さい!!

猫のしっぽ 補完。本紙 1 月 14 日刊 1219 号で触れた床下収納スペースの酒のうち、サントリーローヤル元箱未開封を出してみた。元々15 年樽熟成で、瓶詰後 25 年以上は床下で寝ていたので少なくとも 40 年物。デカンタボトルのコルクも若干緩んでいたけれど生きていて状態は悪くなく、飲んでみる。経時による落ち着いた味わいと凝縮感はあるが少し地味な印象。そこで普段愛飲しているバランタインファイネストとヴァッティングしてみると、、『何ということでしょう!!』。口腔中に突然黄金色の燦きの世界が開け、思わず『うそ~?!!!!』。このような発散的な開放感ではシングルモルトのザ・マッカランなども近いが、それより複雑微妙で今迄一度も経験したことのない奥深さ。ローヤルでは歳月で失われた瑞々しさや輝き、バランタインでは足りなかった深みと重層性が相互に補完し合い、得も言われぬ味と香りに。この古今の融合、お酒以外にも応用できるかも。風猫子